

# シンポジウム 実践発表

## 仕事のスキルを活かしたボランティア



**本木 勉 氏**  
プロボノ  
ビジネスパーソン

会社勤めなどをしながら、自分のスキルや経験を活かしたボランティアを「プロボノ」といいます。私は2016年、「プロボノ」として練馬キングス・ガーデンさんの中庭活性化のお手伝いをしました。中庭「エデン」はその後ますます素晴らしくなられており、大変嬉しく思います！

普段の会社勤めとボランティアを両立させることは、時間的な制約から難しいことも多いものです。また、必ずしも自分のスキルにマッチした活動ができるとも限りません。ただ、その分やりとげたときの充実感も高く、得るものもたくさんあります。そのようなプロボノの実体験をお話しできたらと思います。

## 地域の中で非分類協働の暮らしを



**明星 マサ 氏**  
社会福祉法人つくり  
っこの家理事長  
精神保健福祉士

学生時代に脳性マヒの方に初めて出会ったことで、自分の中にある偏見の大きさに気づかされて以来、知らないことで否応なしに持ってしまっている偏見が自身のテーマとなりました。

「できることから始めよう」と様々な人たちが出会い、知り合う場として自宅を開放した「つくりっこの家」を1978年にスタートしました。多様な人たちと「共に生きる」ことの試行錯誤を続けていく中で「障害がある人となない人」から「すでに障害がある人とまだない人」という考えに辿り着きました。活動は来年で40周年を迎えます。

## 麻雀店経営を通して地域貢献



**山崎 晋 氏**  
しあわせ麻雀道場  
代表  
手話通訳士

私は練馬駅の近くで麻雀店「薫風」を運営しています。平成13年に脱サラして若者向けの店を開店しました。それから3年後閉店を決意し契約期間の残り6か月をお年寄りや障害を持った方に開放し30年以上暮らす練馬に恩返しして転職と考えました。しかし無料ゆえに警戒され、区報への告知も個人の商売の応援は公平性を欠くと断られました。がらんとした店を見ながら、ボランティア活動をするのも意外に難しいのだと考えさせられました。そんな時に「つくりっこの家」の明星さんやメンバーの方と会ったことで薫風の人生が変わりました。なぜ変わったのか、どう変わったのかをお話ししたいと思います。

## 講演 「わが町で共につながる-何故つながろうとするのか-」



**尾山 清仁 氏**  
聖書キリスト教会牧師  
キングス・ガーデン東京  
協力牧師  
NPOホサナ理事

私のモットーは、日本一敷居の低い教会を作ること。そして、そのことと関連して、一生の間に日本の教会がこれまでに想像もしなかったような大きな失敗をやらかしてみることです。

その失敗というのは、次の世代が「バカなことを考えたものだ。でも、その意図は解る」と思ってくれるような試みです。そのために、地域社会に役立つことであれば、それがキリスト教と全く関係がないと思われることであっても提供する努力を惜しみません。

教育、スポーツ、芸術、趣味、カウンセリング、社会福祉事業などはもちろんですが、特に意識していることは、どんな人でも等身大の自分が受け容れられる居場所を見つけ、また、自分なりに何か人の役に立つことを発見できる安全な場所をご提供する取り組みです。

そのために、リーダーたちが、率先して正直に自分の弱さや失敗の分かち合いを励行し、まず自分たちにとって教会が安全かつ必要な場であることを日々確信できるように心がけています。

参加申込書 FAX : 03-5398-1490 (申し込みはお早めに、定員 300 名)

氏名	人数	名
所属	電話	